

いまおし
■今、起きていることを 知るちばけんぼうさい
◇千葉県防災ポータルサイト

した し えいご かんこくご ちゅうごくご ご ご
下の ようなことを 知ることが できます。英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語で 書いてある
ページも あります。

- ちばけん じしん つなみ たいふう
・千葉県の 地震・津波・台風など
- ひなんし じ れんらく じょうほう ひなんじょ
・避難指示<にげてくださいといふ 連絡>情報、避難所<にげる ところ>のあるところ
- ばしょ
・あぶない 場所など、すぐに 知ってほしいこと
- てんきよほう ちゅういほう けいほう あめ おお
・天気予報 (注意報・警報・雨の多さなど)
- でんしゃ どうろ と
・電車や 道路の 止まっているところ
- でんき すいどう
・電気や 水道

<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/>

がいこくじん じょうほう
◇外国人のための情報アプリ 「Safety tips」<スマホで みられます>

じしん つなみ じょうほう
このアプリは、地震や 津波などのとき やくに たつ 情報があります。いろいろな ことばで みることができます。

- した
・下の URLから ダウンロードして ください

Android: <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rcsc.safetyTips.android>

iPhone: <https://itunes.apple.com/jp/app/safety-tips/id858357174>

◇NHK WORLD-JAPAN<災害の 情報が スマホで みられます>

じしん たいふう あたら
地震や 台風が きたときに、新しい ニュースを おしえます。

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/app/>

いえ
■家で やっておくことじゅんび
◇準備しておくもの

じしん たいふう でんき すいどう せいかつ ひつよう もの なが
地震や 台風が きたときには、電気・ガス・水道などの 生活に必要なものや、物の流れが ストップす
ることがあります。その時のために、少なくとも 3日分、できれば 1週間分の 食べものや 日用品(生活
ひつよう もの か いえ お
に必要な物)を 買ってください。それを 家に 置いてください。

た おお か さいがい みせ ふる た
食べものは いつも 多く 買っておきます。災害で 店に いけないときが あります。古いものから 食べ
て ください。食べたものを 新しく 買ってください。これを「ローリングストック」と いいます。

なが あいだ た もの せいかつ ひつよう いえ お
長い間 食べ物や 生活に必要なものを 家に置くことができます。カセットコンロがあると、あたたかいも
のを 食べることができます。

〔家に いつも おいておく もの〕

- ・ 水(1人 1日 3リットル、1週間分)、カセットコンロ、カセットボンベ<かえの ガス>、食べもの(米、カップラーメン、レトルト食品<パックの カレーなど>、おかしなど)
- ・ 小さい ラジオ、非常用トイレ、携帯電話の バッテリー、懐中電灯<もちはこびの できる ライト>、ゴミ袋
- ・ よく使う 薬、生理用品<ナプキンやタンポン>、粉ミルク<赤ちゃんの のむ ミルク>、オムツ<赤ちゃん、としを とった人>など

〔にげるときに もっていくもの〕

□水、□食べもの、□携帯電話の バッテリー、□懐中電灯、□ヘルメット、防災ずきん<頭に かぶるものの>、□常備薬、□お金、□通帳、はんこ、□タオル、□服、下着、□マスク、□かつば、レインコート、□ティッシュペーパー、□ライター、ろうそく、□ゴミ袋など

◇家が こわれないために すること

ふるい 家や 木の 家、地面が よわいところに ある 家、1階の 壁が すぐない 家などは、耐震診断<どれだけ 地震につよいか しらべる>をして ください。地震に 強い 家にして ください。
大きな 家具は 動かないようにして ください。ねる 部屋や 子どもの 部屋に 大きな 家具を おかないで ください。にげるときに あぶないです。家具を おく 場所を よく 考えて ください。窓に飛散防止フィルム<われた ガラスが とばないようにするもの>を はって ください。
「感震ブレーカー」は、地震が くると 電気を とめる 機械です。火事が おきにくいです。

◇危険な 場所や 避難場所<にげるところ>を しって ください

台風や つよい 雨、津波などが きたとき、あぶない場所を 知って ください。役所の ハザードマップ<あぶない 場所を おしえる 地図>などで 知ることができます。
避難の場所と いく道を 知って ください。安全に にげることができます。つよい 雨のときと 津波のときで、避難場所がちがうかもしれません。

◇防災訓練<地震などが きたときのための 練習>

日本は 地震が 多い 国です。役所や 近所で 防災訓練を するときは、必ず いって ください。
地震などが きたとき、どうすればいいか 知って ください。

■地震が きたときに すること

①緊急地震速報

地震が くる すぐ まえに、緊急地震速報が テレビや ラジオに でることがあります。ゆれる まえの みじかい 時間で、自分の からだを まもる 準備をして ください。

②地震が きたとき

テーブルや つくえの 下へ いって、からだを まもって ください。地震が おわるまで 待って ください。

③地震の ゆれが 止まったとき

うみ 海や 山の近くの人は すぐに にげてください。津波や 山くずれが くるかもしれません。

すぐに 火を止めて ください。ドアや 窓を あけて にげる 道を つくって ください。

④にげる、家族が 大丈夫か 知る

ラジオなどで 正しい 話を きいて ください。家が こわれそうなときは、にげて ください。準備してい たものを もって、くつを はいて、あるいは にげて ください。

でんき 電気の ブレーカーを 止めてから にげて ください。感震ブレーカーが あれば、機械が 電気を 止 めてくれます。

はなれたところに いる 家族が 大丈夫か 知って ください。電話は できるだけ つかないで ください。災害用伝言サービス<メッセージを のこすことが できる>を 使って ください。家族に 連絡す ることが できます。

・災害用伝言ダイヤル(171)

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

・Web171

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/index.html>

・携帯電話災害用伝言版

〈NTT ドコモ〉

<https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html> (日本語)

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/info/disaster/index.html> (英語)

〈au〉

<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/> (日本語)

<https://www.au.com/english/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/> (英語)

〈ソフトバンク〉

<https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/boards/> (日本語)

〈ワイモバイル〉

<http://www.ymobile.jp/service/dengon> (日本語)

〈楽天モバイル〉

https://network.mobile.rakuten.co.jp/service/disaster_board/ (日本語)

⑤人を たすける

おお 大きな 地震などのときは すぐに たすけに くることが できません。ちかくの 家の 人と 一緒に 火 を けして ください。けがをした人を たすけて ください。防災訓練へ いって、練習して ください。

⑥避難所<にげる ところ>

すべての市や町や村にあります。

お金はかかりません。誰でも使えます。泊まることができます。

ラジオなどの ニュースを きいて ください。

食べるものは あります。最初は 家から もってきたものを 食べて ください。

避難所では、ほかの人と たすけあいましょう。

◇津波

千葉県の 東、西、南側は 海が あります。地震のあとで 津波が くるかもしれません。海の ちかくに いるときに 地震が きたら、できるだけ 海から とおい、高いところへ にげて ください。

<津波について 注意すること>

①強い 地震が きたときは、すぐに 海から とおい、高いところへ にげて ください。弱い 地震でも、長い あいだ ゆっくりとゆれたときは、にげて ください。

②ゆれていないときも、津波警報<津波が すぐに くることを 知らせる>が でたときは、すぐに にげて ください。

③津波は 何回も きます。警報が なくなるまで 家に かえらないで ください。

地震や 台風などのときに よく つかう 日本語

避難	にげること
高台	高いところ
迂回	いつもと ちがう 道を いく
安否	だいじょうぶ 大丈夫かどうか
停電	でんき と 電気が 止まる
断水	すいどう みず 水道の 水が でなくなる
給水車	みず くぼ くるま 水を 配る 車
不通	とおることが できない

■台風・つよい 雨

日本には、毎年 多くの 台風が きます。強い 風や 雨で、死ぬ人や けがをする人が います。天気に 注意して、はやくから 準備して ください。役所から 避難情報<にげる お知らせ>が でたときは、すぐに にげて ください。

◇台風・つよい 雨のための 準備

- ① 家のまわりを しらべて ください。風で 飛んでいきそうなものは ぜんぶ 家の なかへ いれてください。または、飛ばないようにして ください。川から 水が きそうな ところでは、家具や 食べものなどを 2階など 家の 高い 場所へ もつていって ください。
- ② 電気が 止まるかも しません。懐中電灯や ラジオ、携帯電話の バッテリーなどを 準備して ください。
- ③ 水が 止まるかも しません。飲む 水を 準備して ください。
- ④ 天気予報(警報、注意報、雨の多さ)を みてください。
- ⑤ できるだけ 外へ 出ないで ください。台風が くる まえでも、電車や バスが 止まることが あります。テレビ、ラジオ、インターネットで みてください。
- ⑥ 病気の人や 子ども、あるけない人を 安全な 場所へ つれていって ください。
- ⑦ 役所の お知らせに 注意して、できるだけ はやく にげて ください。にげるのに 時間が かかる 家族がいるときは、はやくにげてください。

◇にげる

「警戒レベル」を みて、いつ にげればいいか 考えます。警戒レベル3「高齢者等避難」、4「避難指示」が でたときは、すぐに にげて ください。

〔警戒レベル1〕 台風などの 準備が できているか しらべて ください。気象庁から 「早期注意情報」 が でます。

〔警戒レベル2〕 避難場所へ いく 道を たしかめて ください。気象庁から 「気象注意報」 が でます。

〔警戒レベル3〕 にげるのに 時間が かかる人は にげて ください。年を とった人や あるけない人、子どもなどです。役所から 「高齢者等避難」 が でます。

〔警戒レベル4〕 危ない 場所から ぜんぶの人が にげて ください。役所から 「避難指示」 が でます。

〔警戒レベル5〕 災害が おこった または 住んでいる 場所の すぐ近くまで きています。家や まちが こわれています。自分が 死なないように 命を まもってください。役所から 「緊急安全確保」 が でます。

■火事

日本の 家や アパートは 木で できています。畳や 紙の戸など、火が つきやすいものが 多くあります。火事を おこさないように いつも 注意して ください。

◇火事を おこさないために 大事なこと

- ① ベッドやふとんの上で たばこを すうことは 絶対に やめて ください。
- ② ストーブは 火が つきやすいものから とおい ところに おいてください。
- ③ ガスコンロなどの ちかくに いないときは、必ず 火を けして ください。
- ④ 住宅用火災警報器を つける 必要が あります。
- ⑤ ふとん、服、カーテンに 火が つくかも しれません。火が つきにくいものを 使って ください。
- ⑥ 火が 小さいうちに 消すことが 大事です。住宅用消火器＜火を けす 道具＞を 家に おいて ください。
- ⑦ 家のちかくの人を 助けることが できるようにして ください。